



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 株式会社 セゾン情報システムズ 上場取引所 東
 コード番号 9640 URL https://home.saison.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートサービス センター長 (氏名) 藤内 聖文 TEL 03-6370-2930
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,455	0.9	1,553	26.1	1,556	25.8	1,375	35.9
2019年3月期第2四半期	11,353	△25.3	1,232	△54.6	1,237	△54.1	1,012	△48.5

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 1,320百万円（18.4%） 2019年3月期第2四半期 1,115百万円（△45.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	84.92	—
2019年3月期第2四半期	62.48	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,194	13,837	68.5
2019年3月期	20,640	13,084	63.4

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 13,837百万円 2019年3月期 13,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	35.00	45.00
2020年3月期	—	40.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	1.5	2,500	7.2	2,500	6.6	2,100	3.2	129.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）株式会社アプレッソ
連結子会社でありました株式会社アプレッソは、2019年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	16,200,000株	2019年3月期	16,200,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	510株	2019年3月期	446株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	16,199,531株	2019年3月期2Q	16,199,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料入手方法について）

当社は、2019年10月31日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配付する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移しながらも、米中貿易摩擦の激化などを背景にした世界経済の減速など、先行きの不透明感が続いている状況にあります。

当社グループが属する情報サービス業界は、「AI」、「IoT」、「ビッグデータ」、「ブロックチェーン」、「RPA (Robotic Process Automation)」等、ITイノベーションによるDX (デジタルトランスフォーメーション) への取り組みが本格化しつつあり、新たな期待・需要が高まっております。また、デジタル化の進展によって、クラウドに代表されるサービス型ビジネスへの転換も進んでおります。

一方で、優秀な技術者の不足及び高コスト化等、重要な事業リソースに係る課題も顕在化しており、最新テクノロジーやITイノベーションに対応できる技術者の育成及び確保が共通課題となっております。

このような経営環境のもと当社グループは、システム開発、データセンターを活用した情報処理サービス、「HULFT (ハルフト)」「DataSpider」を中心としたパッケージ製品の販売及びサポートサービス等を提供してまいりました。これら既存領域の徹底した生産性向上による収益性の向上を図るとともに、パッケージ製品のサービスビジネス化や更なるグローバル展開、最新テクノロジー(「AI」、「IoT」、「ビッグデータ」、「ブロックチェーン」、「RPA」、「クラウド」等)の研究開発及び活用、さらに全社的な技術戦略を推進する人材育成等を推し進めております。

そして、新たな市場・お客様に対しサービス展開し、既存のお客様に新規技術を適用したサービスを提供することで、更なる事業成長を目指しております。成長の主軸に位置付けているリンケージサービスは、当社の強みである「HULFT」「DataSpider」を活用し、有力SaaSの導入と関連システム間のデータ連携を端緒として、全社のデータ連携基盤や統合型データ分析基盤の設計・構築にまで、順調にサービス範囲を深化・拡大しております。

また、仕事改革と生産性向上、教育研修制度の充実化、組織横断コミュニケーションの充実化等の取り組みも継続しており、収益性の向上等につなげております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,455百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は1,553百万円(同26.1%増)、経常利益は1,556百万円(同25.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,375百万円(同35.9%増)となりました。また、2019年1月30日公表の「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」のとおり、当社は2019年4月1日付で株式会社アプレッソを吸収合併しております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。以下、セグメント間取引については相殺消去しておりません。

① Fintechプラットフォーム事業

売上面においては、パブリッククラウド化へのインフラ環境構築や業務改善・効率化支援及びRPA活用支援等、新技術領域の売上の増大はありましたが、既存領域におけるシステム開発案件の減少等により、当第2四半期連結累計期間のFintechプラットフォーム事業の売上高は4,920百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

利益面においては、前述の既存領域におけるシステム開発案件の減少等により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は591百万円(同26.1%減)となりました。

② 流通ITサービス事業

本事業は、システム開発中心からサービス提供中心へ事業モデルの転換が順調に進み、売上面においては、既存領域の案件が減少したものの、リンケージサービスの案件が順調に増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の流通ITサービス事業の売上高は2,265百万円(同8.0%増)となりました。

利益面においては、リンケージサービスが順調に増加しているため利益率が改善し、当第2四半期連結累計期間は118百万円の営業利益(前年同期は32百万円の営業損失)となりました。

③ HULFT事業

データ連携プラットフォームのデファクトスタンダードである当社の主力製品「HULFT」の累計出荷本数は、前連結会計年度末から約4,500本増加し約209,500本となり、導入社数は前連結会計年度末から約220社増加し9,800社を超えました。

売上面においては、「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が大幅に増加したこと、クラウド型のサブスクリプションサービスやサポートサービスが拡大したこと等により、当第2四半期連結累計期間のHULFT事業の売上高は過去最高を更新し、4,292百万円(前年同期比19.4%増)となりました。また、当第2四半期連結会計期間の売上高においても過去最高を更新しました。

利益面においては、売上高の増加が大きく寄与し、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,182百万円(同79.3%増)となりました。

(経営目標の達成状況を判断するための指標)

・新規3象限売上高

経営計画では事業モデル変革を掲げており、主な戦略及び重点施策として新しい技術を適用したサービスを創出するとともに新市場の獲得を目指していることから、これらの達成状況を判断する指標として、新技術・新領域に係る売上高(新規3象限)計画達成率を設定しています。

当第2四半期連結累計期間は、Fintechプラットフォーム事業ではパブリッククラウド化へのインフラ環境構築、流通ITサービス事業ではリンケージサービス、HULFT事業ではクラウド型サブスクリプションサービスである「DataSpider Cloud」が大きく進展しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の新規3象限売上高は、2,577百万円(前年同期比91.5%増)となりました。

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	前年同期比	2020年3月期 通期計画	通期計画に 対する進捗率
新規3象限 売上高	1,345	2,577	+91.5%	5,500	46.9%
連結売上高	11,353	11,455	+0.9%	24,000	47.7%
対連結売上高 比率	11.9%	22.5%	+10.6P	22.9%	—

・TSR(株主総利回り)

当社グループは、目指す高収益企業にふさわしい株主還元を実現するためのベンチマーク目標として、TSRを経営指標に設定しております。

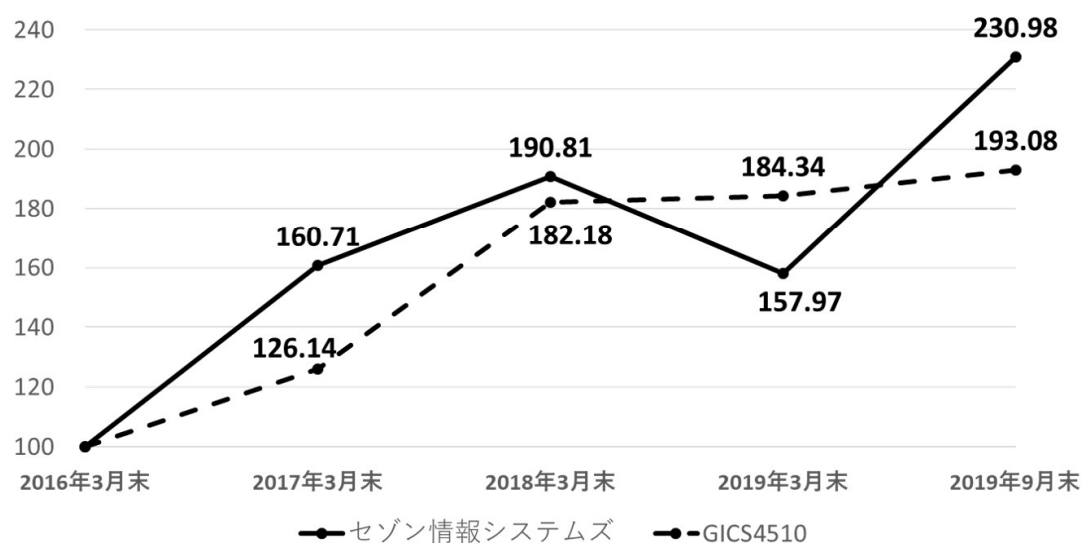
当社グループの事業構造は、システム開発・運用と自社パッケージソフトウェア販売とがバランスしており、情報技術産業の中でも類似の事業構造を持つ企業が少ないと考えます。

したがって、ベンチマークとするTSRは一定数の上場企業を含み、恣意性を排除した対象とするため、GICS(世界産業分類基準)における当社が属する産業グループ(4510:ソフトウェア・サービス)に同様に属する国内上場企業のTSRとしております。

評価期間は、2016年3月末を基準として評価しておりその推移は次のとおりとなっております。

(TSRベンチマーク)

TSR比較グラフ(単位:%)



(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より446百万円減少し20,194百万円となりました。主な減少要因は、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が同587百万円減少したこと、有価証券及び投資有価証券が同389百万円減少したこと、ソフトウェアが同335百万円減少したこと等によるものであります。また、主な増加要因は、現金及び預金が同732百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は同1,200百万円減少し、6,356百万円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金が786百万円減少したこと、賞与支給により賞与引当金が同417百万円減少したこと、未払費用が同278百万円減少したこと等によるものであります。また、主な増加要因は、前受金が同444百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は同753百万円増加し、13,837百万円となりました。この要因は、利益剰余金が、剰余金処分による配当財源への割当てにより同566百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により同1,375百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より5.1ポイント増加し、68.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末より732百万円増加し、9,599百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,347百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,576百万円を計上したこと、減価償却費915百万円を計上したこと等であります。また、主な減少要因は、外注費等の仕入債務が786百万円減少したこと、賞与引当金が417百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は21百万円(前年同期は144百万円の使用)となりました。

主な増加要因は、有価証券の償還による収入220百万円があったこと、投資有価証券の売却による収入43百万円があったこと等であります。また、主な減少要因は、サーバー・通信機器及びソフトウェア等に244百万円を支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は590百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

主な減少要因は、配当金567百万円を支出したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日付「2019年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,367,632	9,099,770
受取手形及び売掛金	3,135,111	2,547,870
有価証券	721,736	500,000
商品	678	16,436
仕掛品	73,165	158,744
貯蔵品	3,351	3,505
その他	527,843	857,022
貸倒引当金	△121,336	△112,570
流動資産合計	12,708,183	13,070,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	884,085	787,908
減価償却累計額	△238,581	△195,721
建物及び構築物(純額)	645,503	592,187
工具、器具及び備品	3,637,774	3,460,322
減価償却累計額	△2,427,486	△2,433,777
工具、器具及び備品(純額)	1,210,287	1,026,545
リース資産	2,835,861	2,182,520
減価償却累計額	△2,693,156	△2,063,150
リース資産(純額)	142,704	119,370
有形固定資産合計	1,998,495	1,738,103
無形固定資産		
ソフトウェア	2,977,785	2,642,109
のれん	349,979	306,441
その他	97	97
無形固定資産合計	3,327,863	2,948,648
投資その他の資産		
投資有価証券	496,977	329,054
敷金	581,202	580,966
繰延税金資産	1,369,482	1,380,258
その他	163,650	151,520
貸倒引当金	△4,941	△5,305
投資その他の資産合計	2,606,372	2,436,493
固定資産合計	7,932,731	7,123,245
資産合計	20,640,914	20,194,026

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,555,235	768,765
リース債務	46,586	46,825
設備関係未払金	57,221	48,864
未払費用	879,978	601,646
未払法人税等	132,752	261,946
前受金	2,673,844	3,118,467
賞与引当金	882,545	465,078
資産除去債務	65,262	—
その他	529,404	442,730
流動負債合計	6,822,832	5,754,325
固定負債		
リース債務	97,450	73,978
退職給付に係る負債	315,208	205,891
資産除去債務	321,176	321,883
固定負債合計	733,836	601,753
負債合計	7,556,668	6,356,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,367,687	1,367,687
資本剰余金	1,454,233	1,454,233
利益剰余金	10,228,094	11,036,775
自己株式	△581	△707
株主資本合計	13,049,434	13,857,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,695	7,565
為替換算調整勘定	5,087	△30,264
退職給付に係る調整累計額	△21,971	2,657
その他の包括利益累計額合計	34,811	△20,042
純資産合計	13,084,245	13,837,946
負債純資産合計	20,640,914	20,194,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	11,353,244	11,455,961
売上原価	7,258,751	7,045,509
売上総利益	4,094,493	4,410,452
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△5,092	533
役員報酬	100,715	87,945
従業員給料及び賞与	870,754	899,174
賞与引当金繰入額	236,582	224,486
退職給付費用	76,485	64,972
福利厚生費	195,521	195,885
減価償却費	92,467	68,862
のれん償却額	43,538	43,538
研究開発費	294,342	221,690
その他	956,536	1,049,405
販売費及び一般管理費合計	2,861,853	2,856,496
営業利益	1,232,639	1,553,955
営業外収益		
受取利息	601	4,211
受取配当金	3,251	8,531
投資事業組合運用益	5,163	2,808
持分法による投資利益	1,660	1,291
その他	2,198	3,502
営業外収益合計	12,876	20,346
営業外費用		
支払利息	4,963	713
為替差損	2,642	15,823
その他	—	940
営業外費用合計	7,605	17,477
経常利益	1,237,910	1,556,825
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,263
特別利益合計	—	44,263
特別損失		
固定資産処分損	559	4,208
投資有価証券売却損	—	20,250
特別損失合計	559	24,458
税金等調整前四半期純利益	1,237,350	1,576,630
法人税等	225,239	200,964
四半期純利益	1,012,110	1,375,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,012,110	1,375,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,012,110	1,375,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,342	△44,130
為替換算調整勘定	15,110	△30,861
退職給付に係る調整額	47,621	24,629
持分法適用会社に対する持分相当額	2,298	△4,490
その他の包括利益合計	103,372	△54,854
四半期包括利益	1,115,483	1,320,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,115,483	1,320,811

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,237,350	1,576,630
減価償却費	973,228	915,318
のれん償却額	43,538	43,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,731	△8,401
賞与引当金の増減額(△は減少)	△412,937	△417,466
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△35,267	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71,822	△84,688
受取利息及び受取配当金	△3,853	△12,743
支払利息	4,963	713
為替差損益(△は益)	913	16,412
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△24,013
固定資産処分損益(△は益)	559	4,208
投資事業組合運用損益(△は益)	△5,163	△2,808
持分法による投資損益(△は益)	△1,660	△1,291
売上債権の増減額(△は増加)	1,306,502	587,241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,890	△101,491
仕入債務の増減額(△は減少)	△835,356	△786,469
前受金の増減額(△は減少)	276,025	444,622
その他の資産の増減額(△は増加)	△396,135	△312,911
その他の負債の増減額(△は減少)	△289,057	△423,077
小計	1,710,204	1,413,320
利息及び配当金の受取額	3,853	13,206
利息の支払額	△4,487	△713
法人税等の支払額	△519,457	△77,936
法人税等の還付額	804	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190,917	1,347,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資事業組合からの分配による収入	6,900	—
有価証券の償還による収入	—	220,897
投資有価証券の売却による収入	—	43,970
有形及び無形固定資産の取得による支出	△230,819	△244,284
有形及び無形固定資産の売却による収入	279	55
敷金及び保証金の差入による支出	△1,619	△2,268
敷金及び保証金の返還による収入	81,404	2,447
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	400	450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,955	21,267

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△22,167	△23,234
自己株式の取得による支出	—	△126
配当金の支払額	△566,018	△567,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588,185	△590,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,656	△46,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,432	732,138
現金及び現金同等物の期首残高	7,303,680	8,867,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,775,112	9,599,770

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Fintech プラットフォーム 事業	流通IT サービス事業	HULFT 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,664,168	2,098,030	3,591,045	11,353,244	—	11,353,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,448	5,448	△5,448	—
計	5,664,168	2,098,030	3,596,494	11,358,693	△5,448	11,353,244
セグメント利益又は損失(△)	799,912	△32,057	659,500	1,427,356	△194,716	1,232,639

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△194,716千円には、セグメント間取引3,241千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,958千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Fintech プラットフォーム 事業	流通IT サービス事業	HULFT 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,920,557	2,265,302	4,270,101	11,455,961	—	11,455,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	22,494	22,494	△22,494	—
計	4,920,557	2,265,302	4,292,596	11,478,456	△22,494	11,455,961
セグメント利益	591,236	118,292	1,182,166	1,891,695	△337,739	1,553,955

(注)1 セグメント利益の調整額△337,739千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。